

くまがみね

学校だより
2026(令和8)年4月8日
福山市立熊野小学校



進級おめでとうございます

春の訪れとともに、新しい年度の足音が聞こえてまいりました。

去る3月29日(日)、本校において白寿会のみなさまによる清掃活動が行われました。当日は、総勢90名という大変多くの会員のみなさまにお集まりいただき、運動場の隅々から校舎の周辺まで、心を込めてきれいにしてくださいました。

冬の間伸びた雑草や、風で運ばれてきた細かなゴミなども一つ一つ丁寧に取り除いていただいたおかげで、見違えるほど清々しい環境となりました。地域のみなさまがこうして学校を大切に思ってくださいのお姿は、私たち教職員、そして子どもたちにとっても大きな励みとなります。整えられた美しい環境の中で、子どもたちはさわやかな気持ちで新学期を迎えることができます。朝早くからご協力いただきました白寿会のみなさまに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、今年度は、新1年生8名を迎え、児童数62名でスタートします。

3月の修了式で、私は子どもたちに「宿題」を出しました。「やってみたいこと、挑戦したいこと」を一つ決めることです。「やってみたい!」と一歩踏み出す経験が、子どもたちを大きく成長させます。1年後、「これに挑戦してよかった!」と笑顔で振り返ることができるよう、素晴らしい一年にしていきたいでしょう。教職員一同、子どもたちの挑戦を全力で応援していきます。

今年度も保護者のみなさまの学校教育活動へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

～ 小規模校の“強み”を生かした教育活動 ～

本校は児童数62名の小規模校です。これまでも、小規模校の熊野小学校にしかできない取組を進めて参りました。

職場体験、「認知症カフェ」参加、150周年オリジナルソング創作、「くまのレインボー」ライブ演奏、「デニムの日」、「カラフルな日」など。

ここ数年の学習を振り返ってみると、児童が地域に働きかけることで、地域のみなさまに喜んでもらえたり、元気を届けたりすることができました。

一方で、児童にとっては自己肯定感を高めたり、ふるさとに愛着や誇りをもったりすることにつながりました。

今年度も地域のみなさまに協力をいただきながら、「顔の見える関係」を生かし、これまで以上に楽しい教育活動を創造していきます。